

熱海市は、将来都市像に「住むひとが誇りを訪れるひとに感動を誰もが輝く楽園都市熱海」を掲げ、「住んでみたい」「訪れてみたい」、そしてそんな街に「投資をしたい」という「選択される街」を目指して、シティプロモーション活動に取り組んでいます。

『熱海NEWS LETTER』は、その活動の一環として、熱海の旬な情報をお伝えするために、定期的に発行しています。

右の写真は、P2でご紹介している熱海梅園。紅梅と白梅で園内が薄桃色に染め尽くされます。



LINE UP

ラインナップ

S 【特集1】日本一早い梅と桜に出会える街・・・P2

日本一早い梅と桜が咲くといわれている熱海。

熱海梅園梅まつり&あたまみ桜 糸川桜まつりをご紹介します。

【特集2】舌と目で、梅と桜を楽しむ・・・P3

至極の芸術“梅と桜を鑑賞する”“梅と桜を味わう”

E 【イベント】12月～3月の主なイベントをご紹介します・・・P4

◇冬の澄み切った空気で見ると花火 “熱海海上花火大会”

◇採れたてのわかめに舌鼓 “多賀わかめまつり”

◇日本有数の温泉観光地で資格取得!! “温シェルジェ&温泉観光士 養成講座”

A 【熱海のココスキ!!】「人と人とのご縁で生まれた福の道プロジェクト」・・・P5

樹齢2000年を超す国の天然記念物大楠がパワースポットとしても名高い、来宮神社20代宮司の雨宮盛克さんに、福の道プロジェクトや熱海のココスキ!!について伺いました。



日本列島は冬本番を迎える今日この頃。今回の特集では、日本一早く咲くと言われている熱海の“梅”と“桜”にスポットをあてて紹介します。既に熱海梅園では11月8日時点で早咲きの梅3本(9輪)が確認されています。

熱海梅園梅まつり & あたみ桜 糸川桜まつり

◆熱海梅園梅まつり

平成26月1月11日(土)～3月9日(日)8:30～16:00

熱海梅園は明治18年に当時の衛生局長である長与専斎が提唱し、明治19年横浜の豪商茂木惣兵衛が開園して以来120年以上の歴史があります。この熱海梅園も篤志家により平成23年にリニューアルされ、早咲・中咲・遅咲の58種464本の梅の木が植えられており、梅まつり期間を通じて楽しんでいただくことができます。足湯に入りながら、梅を鑑賞するのも格別の体験です。

また最盛期を迎え熱海梅園付近の駐車場が混雑することが予測される2月1日(土)～3月2日(日)の土曜日・日曜日・祝日は、海岸沿いにある市営東駐車場⇄熱海梅園の間を定期的に無料シャトルバスが運行しますので、自家用車でお越しの方も安心です。梅園見物の前後で街歩きするのも楽しいひとときです。

入場料:市民・市内別荘所有者・宿泊者・100円、一般300円(中学生以下無料)、団体割引11名以上200円

◆あたみ桜 糸川桜まつり

平成26月1月25日(土)～2月16日(日)10:00～15:00

熱海梅園より歩いて15分、市街地にある糸川遊歩道では桜まつりが開催されます。開催期間中の土曜日・日曜日・祝日には、咲き誇るあたみ桜の下で桜茶などの無料サービスや、様々なイベントが展開されるほか、糸川⇄熱海梅園間で無料シャトルタクシー(1/25(土)を除く)が定期的に運行されますので、梅と桜の両方を楽しんでいただくことができます。

また、期間中の17:00～23:00はあたみ桜がライトアップされ、糸川沿いを幻想的な光景へと変えてくれます。

「あたみ桜」とは、明治4年頃イタリア人によって熱海にもたらされ、先人たちにより増殖が行われ、熱海市内の多くの場所に植栽されました。下田御用邸(昭和47年)、伊勢神宮(昭和48年)、東宮御所(昭和51年)に献上され、広く知られ

るところとなり、昭和52年の市制施行40周年には熱海市の木として指定されました。あたみ桜は、開花期が1月と沖縄の寒緋桜と並んで日本列島で最も早咲きで、早咲きと言われる河津桜より約1ヵ月早く咲きます。また、あたみ桜は一つの枝に早期に開花する花芽と後期に開花する花芽と二段構えに形成されているため、一般の桜の開花期間である1～2週間と比べて、約1ヵ月間開花するというのもあたみ桜の特徴です。

<お問合せ>

熱海市観光協会 TEL 0557-85-2222



“梅と桜を味わう” 熱海コレクションA-PLUS第3弾認定

世界的なソムリエである田崎真也さんを特別審査員として招聘し、熱海の厳選された一品を「熱海ブランド」として認定している「熱海コレクションA-PLUS」の第3弾が平成25年10月に認定されました。

また、第1弾～第3弾の熱海ブランド認定商品を販売する店舗をマップでご紹介する「熱海おみやげマップ」も12月中に完成する予定です。このマップは宿泊施設や熱海駅前コンシェルジュを中心に設置されていますので、マップを片手に認定店を巡ってみると、今まで気づけなかった新たな熱海の発見につながるかもしれません。

熱海ブランド認定商品には、梅や桜にまつわる商品も多数ありますので、梅や桜を觀賞した思い出として、また梅や桜を味わっていただく逸品としていかがでしょうか。



＜お問合せ＞ 熱海商工会議所 TEL 0557-81-9251

至極の芸術 “梅と桜を鑑賞する”

MOA美術館では、熱海市内に早咲きの梅と桜が咲き誇るこの季節、梅と桜の名品展を開催します。

◆特別展示 広重の「梅と桜」 平成26年1月1日(水・祝)～29日(水)

「東海道五十三次」の展示とともに、「名所江戸百景」などの広重作品から梅や桜をテーマとした作品を選んで展示します。この展覧会で展示する「亀戸梅屋舗」は、ゴッホが模写しており海外にも影響を与えた作品です。新春のひととき、季節感あふれる広重作品の数々が楽しめます。

◆国宝「紅白梅図屏風」と所蔵名品展 平成26年1月31日(金)～3月12日(水)

国宝「紅白屏風梅図」は、江戸時代中期の尾形光琳の最晩年期の一大傑作であり、後世の絵画・工芸表現に多大な影響を与えた日本芸術を代表する作品です。

対立して融資を競う紅白の梅、まるで判を押したかのように枠どりをしない花卉とつぼみが「リズムカル」に小枝をつたって息吹く花の旋律に、早春のまだ寒さが残る空気を感じさせ、絵に季節感を伝えています。



(左図)
 国宝「紅白梅図屏風」
 尾形光琳筆

(右図)
 名所江戸百景
 亀戸梅屋舗
 歌川広重

見

冬の澄みきった空気で見える花火
「熱海海上花火大会」

12月8日(日)・15(日)・23日(月・祝)



熱海の花火は夏だけではありません。冬のピンと澄み切った空気の中で、熱海湾の海上に上がる花火も好きという人がいるほどです。必見です。
時間：各日、20：20～20：45

◆お問合せ 熱海温泉ホテル旅館協同組合 TEL 0557-81-5141

見

“金色夜叉”の作者の業績を偲んで
「第72回 尾崎紅葉祭」

1月17日(金) 13：00～14：00

熱海芸妓見番において、熱海の名を一躍全国的に有名にした「金色夜叉」の作者、尾崎紅葉先生の業績に深く感謝するために尾崎紅葉祭を開催します。

熱海芸妓による「金色夜叉」の名場面の再現のほか、貫一・お宮との記念撮影会も行われます。観覧無料。



◆お問合せ 熱海市生涯学習課 TEL 0557-86-6234

見

澤田政廣記念美術館
「愛娘のひなまつり展」

2月1日(土)～3月3日(月)

熱海市の名誉市民である彫刻家の澤田政廣が、生前娘のために作った木彫彩色ひな人形の「立ち雛」・「座り雛」を展示。

展示中は隣接する「熱海梅園」が梅まつり開催中なので、立ち寄ってみてはいかがでしょうか。



開館時間：9：00～16：30（展示期間中休館日なし）
入館料：梅園有料期間中は無料、
通常、大人310円、学生210円、小人100円

◆お問合せ 澤田政廣記念美術館 TEL 0557-81-9211

食

採れたてのわかめに舌鼓
「多賀わかめまつり」

3月1日(土)～3(月) 9：00～15：00

国道135号線沿いの長浜海浜公園で開催。

地元で採れたわかめのみそ汁が無料で振る舞われるほか、採れたてわかめが、手ごろな値段で手に入れられるのも魅力的。

茹でたメカブ（わかめの根元の部分）を刻んで、しょう油を少したらしネバネバにして、ご飯にかけるのがオススメ。



◆お問合せ 多賀観光協会 TEL 0557-67-2255

学

日本有数の温泉観光地で資格取得！！
「温シェルジェ&温泉観光士」養成講座

2月13日(木)～15(土) ※要予約

温泉学の総合的学習を踏まえて温泉を理解し、観光・保養温泉地域の発掘・活性化に寄与する実践力を身につけることを目的に、NPO法人エイミック認定「温シェルジェ」、日本温泉地域学会認定「温泉観光士」の養成講座を開催します。

会場：
熱海市医師会
大会議室
受講料：
10,000円
募集人数：60人
受講資格：
18歳以上の人



◆お問合せ NPO法人エイミック TEL 0557-85-3253

まだまだ、ある。イベントカレンダー

12月	7・8日 網代温泉ひもの祭り（大縄公園）
	18～25日 長浜イルミネーションファンタジー（長浜海浜公園）
	21～23日 長浜みかんフェスタ（長浜海浜公園）
1月	12/30～1/31日 澤田政廣 干支の張り子展 （澤田政廣記念美術館）
	2・3日 華の舞 特別公演（熱海芸妓見番）
2月	19日 海辺のあたみマルシェ（熱海銀座通り）
	1～3/31日 ブル・タウトと日向家熱海別邸企画展 （起雲閣）
3月	9・10日 湯まつり湯前神社例春季大祭（湯前神社）
	8～23日 アタミアートウィーク（CAFE ROCA ほか）
	30日 熱海海上花火大会（熱海湾）

◆お問合せ 熱海市観光協会 TEL 0557-85-2222



あめみや もりかつ
兩宮 盛克 さん

伊豆國霊社熱海 来宮神社第 20 代宮司

— 樹齡 2000 年を超す国の天然記念物「大楠」がパワースポットとしても名高い来宮神社の第 20 代宮司を、平成 24 年に 43 歳という若さで拝命された兩宮盛克さんにお話を伺います。

今 (H25. 11. 20 現在)、来宮神社の参集殿は大改修を行っていますね。

宮司 そうなんです。神社はもともと自然崇拝なのですが、森の中に建つ神社をイメージしており、年内には改修を終える予定です。神社は再生というのを大切にしております、今年、伊勢神宮は 10 月に 20 年に 1 度の遷宮、出雲大社も 5 月に 60 年ぶりの遷宮、熱田神宮は 1900 年祭という節目の年でした。この日本全体の神社が再生をする年に、来宮神社の再生の時期をあてたというのもあります。

熱海市も熱海駅前広場や市庁舎、新熱海中学校など、熱海の象徴的な建物も新しくなりつつあるので、熱海全体が前向きに生まれ変わっていくのだと思います。まさに、新生 (リニューアル) 熱海ですね。

— 熱海生まれ熱海育ちということですが、「熱海のココスキ!!」などところがありますか。

宮司 初代駐日英国公使オールコックの愛犬トビーが大湯の熱湯に触れ大やけどを負って死んでしまったときに、熱海の人が手厚く葬ってあげたことに公使が深く感謝したという逸話もあるように、熱海は優しく温かい人がすごく多いところです。鳥居のあたりを掃除している時に見かけるのですが、ほとんどの人が素通りされることなく、神社に向かっておじぎをされていきます。人ということでは、地域活性化の一つとして進めている「福の道プロジェクト」も、人と人のご縁が重なって生まれたものです。自分が自分というのではなく、お客様に楽しんでいただくという一つの目的に向かって、楽しんでやれている気質だと思います。やはり、熱海の“人”が好きですね。



— 神社というと一般的に敷居が高いイメージですが、地域の皆さんと進めている「福の道プロジェクト」についてもう少しお話を聞かせてください。来宮神社の縁起ものである麦こがしを使った来福スイーツも開発されたそうですね。

宮司 神社というのは昔から地域の繁栄の象徴でもありました。その地域が栄えていれば門前町があったり、神社に足しげく通う人があればそこにお店を開いてみたり。熱海も江戸時代までは来宮神社より上は家があまりなかったそうです。でも、来宮神社は木を崇める信仰があったので、江戸時代から東京の材木屋さんや家具屋さんなどの木を扱うご商売の皆さんが参拝に来てくださるようになりました。私は、神社が栄えて、そして地域の方々の御商売が繁盛して、熱海の財産である熱海梅園が栄えて、この三つの点を何とか結びたいというのが願ひでした。各々が役割分担することによって、観光客にもっと楽しんでいただけたらと思ったんです。熱海梅園は季節感と躍動感を演出するイベント、神社は癒しの空間、御商売する人は来福スイーツという人々に味わったり選んだりする楽しみを創り出す、こういった三つの点を結んだのが「福の道プロジェクト」です。

— さらに癒しの空間として生まれ変わりつつある来宮神社から、ますます目が離せませんね。

宮司 1～3 月は熱海梅園で梅まつりも開催されます。またこの期間は年の初めや節目を迎え、人々が神社で再生を願う時でもあります。ぜひ、お立ち寄りいただき、「癒・躍・楽」を感じていただければと思います。

来宮神社の御神木「大楠」とは・・・

樹齡二千年以上の大楠は、本州 1 位の巨樹で国の天然記念物にも指定されている。

二千年以上もの間、風雨や落雷、天変地異にも耐え、現在でも成長していることから、大楠を一周すると「寿命が一年延びる」と言われており、願ひ事がある方は、願ひ事を心に秘め幹を一周すると願ひが叶うと言ひ伝えられている。

近年、著名人も訪れる屈指のパワースポット。



「大楠」